

2011年8月期業績 及び2012年8月期業績見通し

堂前 宣夫

株式会社ファーストリテイリング
グループ上席執行役員

1

堂前です。

私から、2011年8月期業績、および

2012年8月期業績の業績見通しについてご説明いたします。

I. 2011年8月期決算概要	P3	～	P16
II. 2012年8月期業績予想	P17	～	P25
III. ご参考資料	P26	～	P30

【資料文中のグループ事業の表示について】

各グループ事業の構成は、以下のとおりです。

(2011年8月期以降)

国内ユニクロ事業：株式会社ユニクロ(靴事業含む)の数値が表示されています。

海外ユニクロ事業：海外で展開するユニクロ事業が含まれています。

グローバルブランド事業：セオリー事業、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業、ジーユー事業、キャビン事業が含まれています。

(2010年8月期まで)

国内ユニクロ事業：日本で展開するユニクロ事業の数値が表示されています。

海外ユニクロ事業：海外で展開するユニクロ事業が含まれています。

国内関連事業：ジーユー事業、靴事業、キャビン事業が含まれています。

グローバルブランド事業：セオリー事業、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業が含まれています。

【将来予測に関するご注意】

本資料に掲載されている業績予想、計画、目標数値などのうち、歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報に基づき作成した将来情報です。実際の業績は、経済環境、市場の需要・価格競争に対する対応、為替などの変動により、この業績予想、計画、目標数値と大きく異なる場合があります。

【連結】 2011年8月期実績

増収減益
売上高 : 8,203億円(前期比 + 0.7%)
営業利益: 1,163億円(前期比 ▲12.1%)

単位: 億円

	2010年8月期		2011年8月期		
	通期実績	直近予想 (7/14)	通期実績	前年比	直近予想比
売上高 (売上比)	8,148 100.0%	8,360 100.0%	8,203 100.0%	+0.7%	▲1.9%
売上総利益 (売上比)	4,208 51.7%	4,325 51.7%	4,257 51.9%	+1.2% (+0.2p)	▲1.6% (+0.2p)
販管費 (売上比)	2,885 35.4%	3,110 37.2%	3,094 37.7%	+7.2% (+2.3p)	▲0.5% (+0.5p)
営業利益 (売上比)	1,323 16.2%	1,215 14.5%	1,163 14.2%	▲12.1% (▲2.0p)	▲4.2% (▲0.3p)
経常利益 (売上比)	1,237 15.2%	1,165 13.9%	1,070 13.1%	▲13.5% (▲2.1p)	▲8.1% (▲0.8p)
当期純利益 (売上比)	616 7.6%	600 7.2%	543 6.6%	▲11.9% (▲1.0p)	▲9.4% (▲0.6p)

3

まず、2011年8月期の連結業績についてご説明いたします。
 売上高8,203億円、前期比0.7%の増収でしたが、
 営業利益は1,163億円、同12.1%減、
 経常利益は1,070億円、同13.5%減
 当期純利益は543億円、同11.9%減の、
 減益の結果となりました。

スライド4ページで要因をご説明いたします。

売上高 8,203億円 (前期比 +0.7%)

- ・ 国内ユニクロ事業 ▲150億円
- ・ 海外ユニクロ事業 +209億円
- ・ グローバルブランド事業 ▲11億円

売上高総利益率 51.9% (前期比 +0.2p)

- ・ 会計処理変更の影響を除いた実質ベースは▲1.6p低下
- ・ 国内ユニクロ事業では実質ベースで▲2.2p低下

売上高販管費比率 37.7% (前期比 +2.3p)

- ・ 会計処理変更の影響を除いた実質ベースは+0.3p上昇
- ・ 国内ユニクロ事業では実質ベースで+0.8p上昇

営業利益 1,163億円、営業利益率14.2% (前期比 ▲2.0p)

経常利益 1,070億円、経常利益率13.1% (前期比▲2.1p)

- ・ 円高に伴う為替差損83億円

当期利益 543億円 (前期比 ▲1.0p)

- ・ 特別損失134億円 内、96億円は会計処理変更に伴うもの

4

まず売上高ですが、8,203億円と前期比55億円の増収となりました。

その内訳ですが、国内ユニクロ事業が150億円の減収、海外ユニクロ事業が209億円の増収、グローバルブランド事業が11億円の減収となっております。国内ユニクロ事業では、靴事業の休止による影響額、約50億円を含んでおります。グローバルブランド事業では、2011年2月にキャビン事業のブランドを休止した影響額、約100億円を含んでおります。

売上高総利益率は51.9%と、前期比0.2ポイント上昇いたしました。ただし、会計処理変更の影響を除いた実質ベースでは、同1.6ポイントの低下となっております。粗利益率低下の要因としては、国内ユニクロ事業の粗利益率が実質ベースで同2.2ポイント低下したことがあげられます。

販管費は前期比で209億円増えており、販管費比率は同2.3ポイント上昇いたしました。会計処理変更の影響を除いた実質ベースでも、同0.3ポイントの上昇となっております。これは、国内ユニクロ事業の販管比率が実質ベースで同0.8ポイント上昇したことによります。

これらの結果、営業利益は1,163億円、営業利益率は14.2%と同2.0ポイント低下いたしました。また、経常利益につきましては1,070億円、経常利益率は13.1%と、同2.1ポイント低下いたしました。

営業外損失として、円高に伴う為替差損が83億円発生しております。これは、急激な円高により、海外ユニクロ事業向けに行っている立替金にかかわる為替差損が発生したのに加え、日本製の生地を、一旦海外の生産工場へ輸出し、それを海外から商品として、輸入した際に生じた為替差損によるものです。

2011年8月期 グループ事業別実績

単位: 億円

		2010年8月期		2011年8月期		
		通期実績	直近予想 (7/14)	通期実績	前期比	直近予想比
国内ユニクロ事業	売上高	6,151	6,080	6,001	▲2.4%	▲1.3%
	営業損益 (売上比)	1,277 20.8%	1,090 17.9%	1,062 17.7%	▲16.8% (▲3.1p)	▲2.6% (▲0.2p)
海外ユニクロ事業	売上高	727	1,000	937	+28.7%	▲6.3%
	営業損益 (売上比)	63 8.7%	100 10.0%	89 9.6%	+40.6% (+0.9p)	▲10.5% (▲0.4p)
グローバルブランド事業	売上高	1,252	1,250	1,240	▲0.9%	▲0.7%
	営業損益 (売上比)	78 6.3%	85 6.8%	87 7.1%	+12.0% (+0.8p)	+3.4% (+0.3p)

※1 2010年8月期実績も新カテゴリーに組替した数値を表示しております。

各グループ事業の構成

国内ユニクロ事業: 株式会社ユニクロ(靴事業含む)

海外ユニクロ事業: 海外で展開しているユニクロ事業

グローバルブランド事業: セオリー事業、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業、
ジーユー事業、キャビン事業

※2 連結売上高には上記のほか、ファーストリテイリングの売上高が含まれております。

また、連結営業利益には、上記のほかファーストリテイリングの営業損益、のれん償却費が含まれております。 5

こちらのスライドでは、各グループ事業別の売上高、
営業利益を示しております。

減収減益

売上高 : 6,001億円 (前期比 ▲2.4%)

営業利益 : 1,062億円 (前期比 ▲16.8%)

単位: 億円

	2010年8月期 通期実績	直近予想 (7/14)	2011年8月期		
			通期実績	前期比	直近予想比
売上高 (売上比)	6,151 100.0%	6,080 100.0%	6,001 100.0%	▲2.4%	▲1.3%
売上総利益 (売上比)	3,026 49.2%	2,995 49.3%	2,949 49.1%	▲2.5% (▲0.1p)	▲1.5% (▲0.2p)
販管費 (売上比)	1,749 28.4%	1,905 31.3%	1,886 31.4%	+7.8% (+3.0p)	▲1.0% (+0.1p)
営業利益 (売上比)	1,277 20.8%	1,090 17.9%	1,062 17.7%	▲16.8% (▲3.1p)	▲2.6% (▲0.2p)

※ 2010年8月期実績も新カテゴリーに組替した数値を表示

6

まず国内ユニクロ事業の通期実績ですが、売上高は6,001億円、前期比2.4%減、営業利益は1,062億円、同16.8%減と、減収減益の結果となりました。

これは直近予想に対して、売上高で79億円、営業利益で28億円下回っております。

下期(3月～8月)は増収増益を達成

単位: 億円

	2010年8月期		2011年8月期		
	下期実績	直近予想 (7/14)	下期実績	直近予想比	
				前年同期比	直近予想比
売上高 (売上比)	2,482 100.0%	2,658 100.0%	2,579 100.0%	+3.9%	▲3.0%
売上総利益 (売上比)	1,178 47.5%	1,299 48.9%	1,253 48.6%	+6.4% (+1.1p)	▲3.5% (▲0.3p)
販管費 (売上比)	825 33.3%	913 34.3%	895 34.7%	+8.5% (+1.4p)	▲2.0% (+0.4p)
営業利益 (売上比)	352 14.2%	386 14.5%	358 13.9%	+1.7% (▲0.3p)	▲7.3% (▲0.6p)

※ 2010年8月期実績も新カテゴリーに組替した数値を表示

7

通期では減益の結果となりましたが、下期6ヶ月間では、前年同期比で増収増益に転換することができました。

これは、スーパーカールビズ関連商品を中心に夏物販売が好調に推移したこと、広告宣伝費、人件費などを中心に経費コントロールが順調に進んだことによります。

【国内ユニクロ事業】売上高の状況

2011年8月期:売上高 6,001億円(前年同期比 ▲2.4%)

○ ユニクロ直営店 2011年8月期末 822店(FC店21店舗を除く)
前年同期末比 34店舗増

○ 下期(3~8月)既存店売上高 +0.4% (客単価 +3.7%、客数 ▲3.2%)

・客単価アップ:チノ&カーゴの販売好調による一品単価の上昇、

サラファイン・シルキードライなど機能性インナー販売好調による買上点数の上昇

・客数ダウン:震災の影響により、3~5月落ち込むものの、6~7月は回復

直営既存店	2011年8月期			2011年 9月
	上期	下期	通期	
売上高	▲9.9%	+0.4%	▲6.0%	▲10.7%
客数	▲5.0%	▲3.2%	▲4.2%	▲12.7%
客単価	▲5.2%	+3.7%	▲1.9%	+2.3%

8

国内ユニクロ事業の売上高は通期で6,001億円と2.4%の減収となりました。直営店の店舗数が前年同期末より34店舗増加しましたが、既存店売上高が6.0%減となったこと、靴事業中止の影響が約50億円あったことが減収の要因です。

上期の既存店売上高は前期比9.9%減でしたが、下期の既存店売上高は、同0.4%増とプラスに転じました。その内訳としては、客単価が3.7%増、客数が3.2%減です。

客単価の上昇は、チノ&カーゴといった、比較的に一品単価の高いボトムスの販売が好調に推移したこと、また、サラファイン、シルキードライといった機能性インナーの販売好調による、買上点数が上昇したことによります。

客数は、3月に発生した東日本大震災の影響により、一時減少しておりましたが、6月、7月は回復しております。

なお、既にお知らせしているとおり、9月の既存店売上高は10.7%の大幅な減収となりました。減収の要因としては、9月は厳しい残暑が続いたことから、秋冬物販売の動きが鈍かったことがあげられます。しかし、9月最終週から、気温の低下とともに、秋冬物の販売は順調に推移し始めております。

2011年8月期：売上高総利益率 49.1% (前期比 ▲0.1p)
(会計処理変更^{*}の影響を除いた実質ベースは▲2.2p低下)

上期(実質ベース▲3.4p低下)

- ・秋物商品の処分値引きの増加
- ・ヒートテックの期間限定販売が増加した影響
- ・スポットで調達した為替メリットの減少

下期(実質ベース▲0.5p低下)

- ・綿花を中心とした素材価格の高騰による原価率アップ
- ・処分値引きのコントロール強化

※ 原価算入していた商品倉庫～店舗間の運送費及び倉庫料を2011年8月期より販管費算入へ変更

9

次に国内ユニクロ事業の売上高総利益率ですが、会計処理の影響を除いた実質ベースでは、前期比2.2ポイント低下いたしました。

まず上期は、実質ベースで3.4ポイントの低下となっております。これは、秋物商品の処分値引きが増加したこと、ヒートテックの期間限定販売が前年に比べて増加した影響、前年に比べてスポットで調達した為替メリットが減少したことが主な要因です。

下期では、実質ベースで0.5ポイントの低下となっております。当初より、綿花を中心とした素材価格の高騰により、下期の粗利率は前年同期比で実質ベース1.1ポイント低下することを見込んでおりましたが、処分値引きのコントロールが進んだことから、実績としては、0.5ポイントの低下にとどまっております。

【国内ユニクロ事業】販管費

2011年8月期：売上高販管費比率 31.4%（前期比+3.0p）
 （会計処理変更[※]の影響を除いた実質ベースは+0.8p上昇）

- ・広告宣伝費比率▲0.3p、人件費比率▲0.2p、賃借料率+0.2p
- ・経費削減すすめた結果、直近の計画対比で約20億円削減

単位：億円

	2010年8月期		2011年8月期				2011年8月期	
	実績 旧基準	(売上比)	実績 旧基準	(売上比)	増減	(売上比)	実績 新基準	(売上比)
販管費合計	1,749	28.4%	1,749	29.2%	+0	+0.8p	1,886	31.4%
人件費	622	10.1%	589	9.8%	▲32	▲0.3p	589	9.8%
広告宣伝費	280	4.6%	265	4.4%	▲14	▲0.2p	265	4.4%
賃借料	467	7.6%	469	7.8%	+2	+0.2p	416	6.9%
減価償却費	42	0.7%	54	0.9%	+12	+0.2p	62	1.0%
その他	335	5.4%	370	6.2%	+35	+0.8p	553	9.2%

※ 原価算入していた商品倉庫～店舗間の運送費及び倉庫料を2011年8月期より販管費算入へ変更

10

売上高に対する販管費比率は、会計処理変更の影響を除いた実質ベースで前期比0.8ポイントの上昇となっております。

その内訳としては、広告宣伝費比率が0.3ポイント、人件費比率が0.2ポイント低下した一方で、賃借料率は0.2ポイント、その他経費の比率が0.8ポイント上昇いたしました。

上期は、既存店売上高が減収となったことで、経費比率は実質ベースで1.1ポイント上昇いたしました。下期は経費コントロールの効果がでたこと、既存店売上高がプラスに転じたことから、実質ベースで0.4ポイント改善しております。

なお、経費削減をすすめた結果、この下期でも、直近の計画に対して、約20億円経費を削減することができました。

【国内ユニクロ事業】旧基準比較

	2010年8月期 実績	2011年8月期実績		2011年8月期実績 新基準※
		旧基準	前期比	
売上高	6,151 億円			6,001 億円
既存店伸び率(通期) (ユニクロのみ)	+4.7%			▲6.0%
上期	+13.1%			▲9.9%
下期	▲6.4%			+0.4%
売上高総利益率(通期)	49.2%	47.0%	▲2.2p	49.1%
上期	50.4%	47.0%	▲3.4p	49.5%
下期	47.5%	47.0%	▲0.5p	48.6%
売上高販管費率(通期)	28.4%	29.2%	+0.8p	31.4%
上期	25.2%	26.3%	+1.1p	29.0%
下期	33.3%	32.9%	▲0.4p	34.7%

※ 原価算入していた商品倉庫～店舗間の運送費及び倉庫料を2011年8月期より販管費算入へ変更

こちらの表は、国内ユニクロ事業の新基準及び、旧基準での売上高総利益率、売上高販管費比率の一覧となっております。

【海外ユニクロ事業】2011年8月期実績

大幅な増収増益を達成したものの、 円高により、売上利益共に計画下振れ

- ・ 中国・香港: 既存店売上高の二桁増収続き、大幅な増収増益
- ・ 韓国: TVCMなどの販促効果でブランド認知度向上、大幅な増収増益
- ・ 台湾: 1号店の売上は計画を上回り好調、初年度は大幅黒字
- ・ シンガポール・マレーシア: 7店舗まで拡大、計画通りの順調な業績
- ・ 米国: グローバル旗艦店 NY ソーホー店の二桁増収続き、計画通り順調
- ・ フランス: グローバル旗艦店パリ オペラ店の二桁増収続き、計画通り順調
- ・ 英国、ロシア: 計画を下回り、営業赤字

単位: 億円

		2010年8月期		2011年8月期		
		通期実績	直近予想 (7/14)	通期実績	前期比	直近予想比
海外ユニクロ事業	売上高	727	1,000	937	+28.7%	▲6.3%
	営業損益	63	100	89	+40.6%	▲10.5%
	(売上比)	8.7%	10.0%	9.6%	(+0.9p)	(▲0.4p)

次に海外ユニクロ事業ですが、通期の売上高は937億円と前期比28.7%増、営業利益は89億円と同40.6%増と大幅な増収増益を達成いたしました。海外ユニクロ事業は、好調な業績が続いておりますが、急激な円高の進展により、売上高、営業利益共に会社計画を下回る結果となっております。

まず、中国・香港では、既存店売上高の二桁増収が続いたこと、店舗網が拡大したことで、大幅な増収増益を達成いたしました。

韓国では、テレビCMなどの販促活動の効果で、ブランド認知度が向上したことから、既存店売上高の二桁増収が続き、利益も大幅に拡大いたしました。

台湾は、2010年10月にオープンした1号店の売上高が計画を大きく上回り、初年度から大幅黒字を達成することができました。

シンガポール・マレーシアでは店舗網が7店舗まで拡大しており、計画通りの順調な業績を達成しております。

米国では、グローバル旗艦店ニューヨークソーホー店の二桁増収が続いており、計画通り、順調な業績を達成しております。
なお、ニューヨーク5番街店は、いよいよ明後日14日オープンいたします。

フランスでは、グローバル旗艦店パリオペラ店の売上高の二桁増収が続き、計画通り順調な業績を達成しております。

英国とロシアの売上高は、計画を下回り、営業赤字となっております。

セオリー事業、ジーユー事業、業績は好調

- ・セオリー事業：（米国）既存店売上高の二桁増収続き、業績は大幅上ぶれ（日本）増収増益を達成
- ・コントワー・デ・コトニエ事業：業績は計画下回り減益
- ・プリンセス タム・タム事業：業績はほぼ計画通り
- ・ジーユー事業：旗艦店やTVCMによるブランド認知度向上により、下期の既存店売上高は増収に転じる
旗艦店のオープンコスト負担により減益

単位：億円

		2010年8月期		2011年8月期		
		通期実績	直近予想 (7/14)	通期実績	前期比	直近予想比
グローバルブランド事業	売上高	1,252	1,250	1,240	▲0.9%	▲0.7%
	営業損益	78	85	87	+12.0%	+3.4%
	(売上比)	6.3%	6.8%	7.1%	(+0.8p)	(+0.3p)

※ 2010年8月期実績も新カテゴリーに組替した数値を表示

13

グローバルブランド事業の通期の売上高は1,240億円と、前期比0.9%減、営業利益87億円、同12.0%増となっております。減収となったのは、キャビン事業のブランドを休止したことによる影響、および、円高による為替の影響によるものです。

米国セオリー事業は、既存店売上高の二桁増収が続き、業績は大幅に上ぶれました。

日本のセオリー事業は、3月の震災の影響により一時的な売上の落ち込みはありましたが、通期では増収増益を達成しております。

コントワー・デ・コトニエ事業は計画を下回り、減益となっております。

プリンセス タム・タム事業はほぼ計画通りの業績となっております。

ジーユー事業は、心齋橋、池袋東口に旗艦店をオープンしたこと、TVCMの効果などにより、ブランド認知度が向上し、下期では既存店売上高はプラスに転じました。一方で、旗艦店オープンコスト負担により、通期では減益となっております。

【連結】2011年8月末 B/S

単位：億円

	2010年8月末	2011年8月末	増 減
総資産	5,072	5,337	+264
流動資産	3,456	3,699	+243
固定資産	1,616	1,638	+21
負債	2,193	2,138	▲54
純資産	2,879	3,199	+319

14

2011年8月末の連結バランスシートのご説明をさせていただきます。

総資産は5,337億円と、2010年8月末比で264億円増加いたしました。
これは流動資産が、同243億円、固定資産が同21億円増加したためです。

流動資産の詳細については、次のスライドでご説明いたします。

流動資産の増加

現金・預金及び有価証券の増加 +2億円(2,019億円 ⇒ 2,021億円)

たな卸資産の増加 +186億円(740億円 ⇒ 927億円)

【国内ユニクロ事業】 +23億円増(511億円 ⇒ 534億円)

新店34店舗増による在庫増 +20億円

冬物在庫の早めの積み増し +71億円

会計基準の変更の影響 ▲23億円

春秋物の在庫の適正化 ▲45億円

【海外ユニクロ事業】 +138億円増

出店増と売上拡大、グローバル旗艦店の準備

【グローバルブランド事業】 +25億円増

ジュー、セオリー事業の売上拡大

現金・預金及び有価証券の合計額は2,021億円と、前期末比でほぼ横ばいとなっています。

期末のたな卸資産は927億円と、前期比186億円増加しております。

国内ユニクロ事業の8月末の在庫は534億円と、前期比23億円増加しております。新店34店舗増による在庫増が約20億円、冬物在庫の早めの積み増しによる在庫増が約71億円となっています。

一方、会計基準変更の影響による在庫金額の減少が23億円、春秋物在庫の適正化をすすめたことによる在庫減が45億円となっております。

また、海外ユニクロ事業における在庫は、138億円増加しております。

これは出店増、売上拡大に伴うものです。特に8月末では、秋にオープンが予定されていた台湾、ニューヨーク、韓国でのグローバル旗艦店や、大型店オープン準備のための在庫が増えております。

また、グローバルブランド事業における在庫は、25億円増加しております。

これは、ジュー事業での店舗数増加や、セオリー事業での業績が拡大したことに伴い、増加したものです。

	2010年8月期 実績	2011年8月期 実績	コメント
営業活動によるキャッシュ・フロー	+886	+571	
税金等調整前当期純利益	+1,168	+938	国内ユニクロ事業の利益貢献
減価償却費、のれんの償却額	+241	+261	
運転資金の増減額	▲39	▲173	売上債権、たな卸資産、仕入債務の増減の合計額
法人税等の支払い・還付	▲579	▲559	
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲233	▲266	
有形固定資産の取得による支出	▲171	▲187	出店拡大に伴う投資
無形固定資産の取得による支出	▲41	▲64	システム投資
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲288	▲261	
配当金の支払額	▲203	▲213	一株当たり期末配当金115円、中間配当金95円の支払い
現金及び現金同等物の増加額	308	12	
現金及び現金同等物の期首残高	1,695	2,004	
現金及び現金同等物の期末残高	2,004	2,021	

2011年8月期のキャッシュ・フローについてご説明させていただきます。

営業活動によるキャッシュ・フローは、571億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、266億円の支出となっております。支出の主な内訳としては、国内外のユニクロ事業をはじめとした店舗の増加に伴い、有形固定資産の取得で187億円、システム投資などにより、無形固定資産の取得で64億円となっております。

なお、連結の設備投資額は339億円、うち国内ユニクロは100億円、海外ユニクロ122億円となっております。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは261億円の支出でした。支出の主な内訳としては、配当金の支払額213億円です。

以上の結果、2011年8月末における現金及び現金同等物の期末残高は2,021億円となりました。

【連結】2012年8月期 業績予想

売上高 : 9,650億円 (+17.6%)

営業利益 : 1,355億円 (+16.4%)

	2011年8月期		2012年8月期	
	通期実績		通期予想	前期比
売上高 (売上比)	8,203 100.0%		9,650 100.0%	+17.6%
売上総利益 (売上比)	4,257 51.9%		4,920 51.0%	+15.6% (▲0.9p)
販管費 (売上比)	3,094 37.7%		3,565 36.9%	+15.2% (▲0.8p)
営業利益 (売上比)	1,163 14.2%		1,355 14.0%	+16.4% (▲0.2p)
経常利益 (売上比)	1,070 13.1%		1,275 13.2%	+19.1% (+0.1p)
特別損益	▲132		▲40	-
当期純利益 (売上比)	543 6.6%		710 7.4%	+30.6% (+0.8p)

単位: 億円

17

ここからは、2012年8月期の業績予想についてご説明いたします。

売上高は9,650億円、前期比17.6%増、
 営業利益は1,355億円、同16.4%増、
 経常利益は1,275億円、同19.1%増、
 当期純利益は710億円、同30.6%増と、
 増収増益を予想しております。

増収増益を予想

単位：億円

	2011年8月期	2012年8月期	
	通期実績	通期予想	前期比
売上高 (売上比)	6,001 100.0%	6,570 100.0%	+9.5%
売上総利益 (売上比)	2,949 49.1%	3,185 48.5%	+8.0% (▲0.6p)
販管費 (売上比)	1,886 31.4%	2,070 31.5%	+9.7% (+0.1p)
営業利益 (売上比)	1,062 17.7%	1,115 17.0%	+5.0% (▲0.7p)

18

ここからは、事業別の業績予想についてご説明いたします。

まず、国内ユニクロ事業ですが、売上高は6,570億円、前期比9.5%増、営業利益は1,115億円、前期比5.0%増と、増収増益を見込んでおります。

上期、下期共に増収増益

単位：億円

	2011年8月期		2012年8月期		2011年8月期		2012年8月期	
	上期実績	上期予想	前年同期比	下期実績	下期予想	前年同期比	前年同期比	
売上高 (売上比)	3,421 100.0%	3,770 100.0%	+10.2%	2,579 100.0%	2,800 100.0%	+8.6%		
売上総利益 (売上比)	1,695 49.5%	1,805 47.9%	+6.5% (▲1.6p)	1,253 48.6%	1,380 49.3%	+10.1% (+0.7p)		
販管費 (売上比)	991 29.0%	1,090 28.9%	+10.0% (▲0.1p)	895 34.7%	980 35.0%	+9.5% (+0.3p)		
営業利益 (売上比)	703 20.6%	715 19.0%	+1.7% (▲1.6p)	358 13.9%	400 14.3%	+11.6% (+0.4p)		

こちらは、半期ベースでの業績予想を示しております。
 上期、下期共に増収増益を見込んでおります。

	2011年8月期		2012年8月期		
	実績		予想		
				前期比	
売上高	6,001	億円	6,570	億円	+9.5%
既存店伸び率(通期)	▲6.0%		+5.0%		-
上期	▲9.9%		+5.0%		-
下期	+0.4%		+5.0%		-
店舗数純増(通期)	34店舗		24店舗		▲10店舗
上期	16店舗		9店舗		▲7店舗
下期	18店舗		15店舗		▲3店舗
売上高総利益率(通期)	49.1%		48.5%		▲0.6p
上期	49.5%		47.9%		▲1.6p
下期	48.6%		49.3%		+0.7p
売上高販管費率(通期)	31.4%		31.5%		+0.1p
上期	29.0%		28.9%		▲0.1p
下期	34.7%		35.0%		+0.3p

国内ユニクロ事業の業績予想の前提として、既存店売上高の伸び率は、上期、下期、共にプラス5.0%増、通期でも5.0%増を予想しております。

店舗数の純増は、上期9店舗、下期15店舗を予想しており、期末での店舗数はフランチャイズ店を含み、868店舗となる見込です。

これにより、売上高は上期で10.2%増、下期では8.6%増、通期では9.5%増を予想しております。

売上高総利益率は、上期では47.9%と前年同期比で1.6ポイントの低下を見込んでおります。綿花を中心とする原材料価格の高騰や、工場の加工賃の上昇などにより、原価率は前年同期比で上昇する見込みです。値引率のコントロールを進めてまいりますが、上期の粗利益率は低下することを予想しております。

下期の売上高総利益率は、49.3%と、前年同期比で0.7ポイント改善する見込みです。一部の原材料価格の上昇は続くものの、全体では上昇率が一巡すること、値引率のコントロールにより、下期は粗利益率の改善を見込んでおります。

販管費比率は、通期で31.5%と、ほぼ前年並みの水準を予想しております。

アジアを中心に新店ペース加速 (+107店舗、12/8末288店舗)

中国・香港:新規出店数は61店舗と新店ペース加速

既存店増収も続き、大幅な増収増益

韓国:増収増益を予想、11月にグローバル旗艦店をミONDONにオープン

台湾:9月にグローバル旗艦店オープン、期末には17店舗まで拡大

シンガポール・マレーシア:既存店売上高の二桁増収見込む、増収増益

タイ:1号店は大成功、通期で4店舗出店の予定、初年度黒字を見込む

フィリピン:1号店を2012年下期に出店予定

		2011年8月期		2012年8月期		単位: 億円
		通期実績	通期予想	前期比	前期比	
海外ユニクロ事業	売上高	937	1,600	+70.7%		21
	営業損益 (売上比)	89 9.6%	170 10.6%	+89.9% (+1.0p)		

次に海外ユニクロ事業の通期予想ですが、売上高は1,600億円、前期比70.7%増、営業利益は170億円、前期比89.9%増と大幅な増収増益を予想しております。業績拡大の要因としては、アジアを中心とした新店の加速があげられます。今期は107店舗の純増を見込んでおり、期末では288店舗まで店舗網が拡大する予定です。

まず中国・香港ですが、新規の出店数は61店舗と新店ペースが加速し、期末店舗数は155店舗まで拡大する見込です。既存店売上高も増収ペースが継続する見込で、今期も大幅な増収増益を予想しております。

韓国の今期の業績は、20店舗の純増、既存店の増収により、好調な業績トレンドが続くことを予想しております。韓国においては、二桁の営業利益率を継続的に計上しております。11月11日に韓国初のグローバル旗艦店をミONDONにオープンするなど、ブランド認知度がさらに向上するものと見込んでおります。

2010年10月に進出し大成功を収めた台湾では、この上期に6店舗、下期に10店舗と新店ペースを速める計画です。今年の9月にはグローバル旗艦店、「ユニクロ明曜(メイヨウ)百貨店」もオープンし、台湾でのユニクロの知名度は急上昇しております。

シンガポール・マレーシアでは、二桁の既存店の増収率を見込んでおり、増収増益を予想しております。9月9日にオープンしたタイの1号店は大成功を収めております。今期はタイで合計4店舗を出店する予定で、初年度から黒字を見込んでおります。またアジアでは、本日発表いたしましたとおり、2012年下期に、フィリピンのマニラに1号店をオープンする予定です。

米国事業の本格拡大を開始

米国： ニューヨーク 5番街店、ニューヨーク 34丁目店のオープンで
大幅増収の見込み

2店舗のオープン経費負担を吸収し、黒字を予想

英国： フランスとの経営統合を進め、ロンドン市内の大型店を中心とした
事業転換、黒字化をめざす

フランス： パリ オペラ店の好調な売上トレンドにより、増収増益の見込み
10月にラ・デファンス店の増床オープン

ロシア： 経営の効率改善を図り、黒字化めざす

次に欧米地区ですが、米国事業の本格拡大が始まります。

米国では、ニューヨーク5番街のグローバル旗艦店が明後日14日にオープンいたします。また、それに続いて21日には34丁目に大型店をオープンいたします。この2店舗のオープン経費負担を吸収して、今期のユニクロ米国事業は黒字となる予想です。

英国では、フランスとの経営統合を進める一方で、ロンドン市内の大型店を中心とした事業転換を図り、黒字化を目指します。

フランスでは、パリ オペラ店の増収トレンドが続くことから、増収増益を予想しております。なお、10月末にはラ・デファンス店を大型化しリニューアルオープンする予定です。

ロシアでは、経営効率改善を図ることで、今期の黒字化をめざしております。

ジーユー事業の急成長を予想

ジーユー事業：既存店売上高の増収と店舗純増43店舗により大幅増収増益
売上高は500億円を達成する見込み

セオリー事業：（米国）既存店、卸売り共に増収、大幅増益を予想
（日本）既存店増収続き、増収増益の予想

コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業：
欧州景気の悪化の影響で前年比横ばいを予想

単位：億円

		2011年8月期	2012年8月期	
		通期実績	通期予想	前期比
グローバルブランド事業	売上高	1,240	1,450	+16.9%
	営業損益	87	135	+53.6%
	(売上比)	7.1%	9.3%	(+2.2p)

23

次にグローバルブランド事業の通期予想ですが、売上高は1,450億円、前期比16.9%増、営業利益は135億円、同53.6%増を予想しております。

業績が好調なジーユー事業、セオリー事業が増益に貢献する見込みです。

ジーユー事業は、既存店売上高の増収が続くこと、店舗数の純増43店舗により、大幅な増収増益を見込んでおります。

当初の中期計画では、2013年8月期に売上高500億円を達成することを目標としておりましたが、1年繰り上がって今期達成の見込みです。

セオリー事業ですが、まず米国では、既存店売上高、卸売り共に増収を見込んでおり、大幅増益を予想しております。

日本でも既存店売上高の増収が続くことで、増収増益を予想しております。

コントワー・デ・コトニエ事業とプリンセス タム・タム事業の業績については、欧州景気の悪化の影響で、前年比横ばいを予想しております。

2012年8月期 グループ事業別 業績予想

単位：億円

		2011年8月期	2012年8月期	
		通期実績	通期予想	前期比
国内ユニクロ事業	売上高	6,001	6,570	+9.5%
	営業損益 (売上比)	1,062 17.7%	1,115 17.0%	+5.0% (▲0.7p)
海外ユニクロ事業	売上高	937	1,600	+70.7%
	営業損益 (売上比)	89 9.6%	170 10.6%	+89.9% (+1.0p)
グローバルブランド事業	売上高	1,240	1,450	+16.9%
	営業損益 (売上比)	87 7.1%	135 9.3%	+53.6% (+2.2p)

※ 連結売上高には上記のほか、ファーストリテイリングの売上高が含まれております。

また、連結営業利益には、上記のほかファーストリテイリングの営業損益、のれん償却費が含まれております。

24

グループ事業別の業績予想はご覧の通りとなっております。

配当予想

**2011年8月期 年間配当金 180円を見込
2012年8月期 年間配当金 230円を予定**

	1株当たり配当金		
	中間	期末	通期
2010年8月期	115円	115円	230円
2011年8月期 ※1	95円	85円	180円
2012年8月期(予) ※2	115円	115円	230円

※1 2011年8月期の期末配当金は、2011年11月7日開催予定の当社取締役会での決議を前提としています。

※2 業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、配当金額を変更することがあります。

最後に、年間配当金についてご説明させていただきます。

2011年8月期の配当金は、期末配当金85円を含み、
1株当たりの年間配当金は180円を見込んでおります。

2012年8月期の配当金につきましては、中間配当金115円、
期末配当金115円、あわせて年間で230円を予想しております。

以上で私からの説明を終わります、ありがとうございました。

グループ事業：各カテゴリーに含まれる事業

2010年8月期まで

2011年8月期以降

2010年8月期まで		2011年8月期以降	
	含まれる事業		含まれる事業
国内ユニクロ事業	日本で展開するユニクロ事業	国内ユニクロ事業	日本で展開するユニクロ事業 靴事業★
海外ユニクロ事業	海外で展開するユニクロ事業	海外ユニクロ事業	海外で展開するユニクロ事業
国内関連事業	ジーユー事業	グローバルブランド事業	セオリー事業
	靴事業		コントワー・デ・コトニエ事業
	キャビン事業		プリンセス タム・タム事業
セオリー事業	ジーユー事業★		
グローバルブランド事業	コントワー・デ・コトニエ事業		
	プリンセス タム・タム事業		

※ ㈱キャビンは2010年9月1日よりリンク・セオリー・ジャパンに合併。2011年2月末までにキャビン事業が展開するすべてのブランドを休止。一部店舗については、PLST(プラステ)に転換。

※ 靴事業は2010年4月1日より㈱ユニクロに合併。2011年8月末までに靴事業の専門店を全て閉店²⁶

★ カテゴリーを変更した事業

【連結】特別損失の主な項目

会計処理の変更に伴う特別損失 合計 96億円

物流費一括償却 ▲26億円

物流費・商品倉庫料の計上基準を統一したことに伴い、2010年8月末時点の在庫に含まれる物流費・商品倉庫料の相当額を一括償却

固定資産の減価償却費一括償却 ▲40億円

固定資産の減価償却費計上基準を統一したことに伴う、過去分一括償却

資産除去債務過去分一括償却 ▲29億円

資産除却債務会計基準の適用に伴い、過去分を一括償却

その他の特別損失 合計 38億円

災害による損失 ▲10億円

東日本大震災に伴うもの

減損損失 ▲ 8億円

プリンセス タム・タム事業にかかるのれんの減損 5億円含む

事業整理損失引当金繰入額 ▲ 8億円

靴販売専門店の閉店に伴うもの

	2011年8月期	2012年8月期	
	上期実績	上期予想	前年同期比
売上高 (売上比)	4,573 100.0%	5,380 100.0%	+17.6%
売上総利益 (売上比)	2,384 52.1%	2,700 50.2%	+13.2% (▲1.9p)
販管費 (売上比)	1,563 34.2%	1,840 34.2%	+17.7% (+0.0p)
営業利益 (売上比)	820 17.9%	860 16.0%	+4.8% (▲1.9p)
経常利益 (売上比)	776 17.0%	820 15.2%	+5.6% (▲1.8p)
当期利益 (売上比)	416 9.1%	465 8.6%	+11.6% (▲0.5p)

適用為替レート

単位：円

	1USD	1EUR	1GBP	1RMB	100KRW
2010年8月期 通期(12ヶ月平均)	89.8	122.1	140.2	13.2	7.7
2011年8月期 通期(12ヶ月平均)	82.0	113.2	131.1	12.4	7.0
2012年8月期 通期予想レート	80.0	105.0	120.0	12.0	7.0

設備投資 減価償却費 のれん償却額

単位：億円

	設備投資	減価償却費	のれん償却額
2010年8月期 通期実績	280	122	75
2011年8月期 通期実績	339	187	65
2012年8月期 通期予想	360	160	56

※ 2011年8月期の減価償却費予想及び実績には、固定資産減価償却の一括償却分40億円を含む

連結対象会社別出退店 実績・予想

【単位：店舗】	10年8月	2011年8月期末				2012年8月期末 予想			
	期末	出店	退店	純増減	期末	出店	退店	純増減	期末
ユニクロ事業合計	944	115	35	+80	1,024	156	24	+132	1,156
国内ユニクロ事業:	808	62	27	+35	843	48	23	+25	868
直営店	788	61	27	+34	822	47	23	+24	846
大型店	102	27	0	+27	129	25	0	+25	154
標準店等	686	34	27	+7	693	22	23	▲1	692
FC	20	1	0	+1	21	1	0	+1	22
海外ユニクロ事業:	136	53	8	+45	181	108	1	+107	288
中国(除く香港)	54	28	2	+26	80	60	1	+59	139
香港	13	3	1	+2	15	1	0	+1	16
台湾	-	1	0	+1	1	16	0	+16	17
韓国	48	14	0	+14	62	20	0	+20	82
シンガポール	3	2	0	+2	5	0	0	0	5
マレーシア	-	2	0	+2	2	1	0	+1	3
タイ	-	0	0	0	-	4	0	+4	4
フィリピン	-	0	0	0	-	1	0	+1	1
英国	14	1	4	▲3	11	2	0	+2	13
米国	1	0	0	0	1	2	0	+2	3
フランス	2	0	1	▲1	1	1	0	+1	2
ロシア	1	2	0	+2	3	0	0	0	3
靴事業	90	0	90	▲90	0	-	-	-	-
ジーユー事業	115	40	7	+33	148	43	0	+43	191
キャビン事業	197	0	197	▲197	0	-	-	-	-
セオリー事業 ※	326	68	23	+45	371	30	10	+20	391
コントワー・デ・コトニエ事業 ※	371	27	12	+15	386	15	10	+5	391
プリンセス タム・タム事業 ※	160	4	5	▲1	159	0	0	0	159
総 合 計	2,203	254	369	▲115	2,088	244	44	+200	2,288

※FC店を含む